

科目番号	52107	分類	基礎助産学	履修者	高度実践助産コース	学年			
科目名	助産フィジカルアセスメント学演習 (Physical Assessment for midwives)						1		
							配当セスター		
							前期		
担当者	○平出美栄子、山田 巧 土屋 清志、松井 哲 橋本 美幸	区分	助産師プログラム	選択	単位	1	時間数	30	
授業の概要および目標						学位授与の方針との関連			
【概要】 女性の身体は妊娠・出産・産褥期を通して全身的に変化する。その変化が正常範囲なのか異常を予兆するサインなのかを判断する助産診断能力を育成するため、問診、全身のフィジカルイグザミネーションの技術とその得られた情報の解釈について講義と演習を通して学修する。また周産期のみならず、女性のライフサイクルを通じた健康を推進し異常を予防するための基礎的なアセスメントができる全身のフィジカルイグザミネーションの技術を学ぶ。						○	1. 自律して自然分娩の支援ができる能力		
【目標】 1. 診断技術の基礎：五感を駆使して、問診、視診、聴診、打診、触診の基本的技術を習得する。 2. 非妊女性の全身のフィジカルイグザミネーションの技術を習得する。 3. 周産期の女性の全身のフィジカルイグザミネーションの技術を習得する。 4. 周産期の女性の全身の包括的アセスメントができ、正常異常の判断ができる。						○	2. 院内・院外助産システムを担うことができる能力		
						○	3. 女性の生涯にわたる健康を支援できる能力		
						○	4. 周産期の救急時に対応できる能力		
						○	5. 他職種と連携・協働し、質の高い助産ケアを提供できる能力		
							6. 研究・開発能力		
							7. 倫理的意思決定能力		
						授業計画			
回	内容						担当教員		
1回	ガイダンスと復習						平出		
2回	妊産婦のフィジカルアセスメント講義と演習								
3回	フィジカルアセスメントの pitfall						山田		
4回	胸部（呼吸）フィジカル講義								
5回	胸部（心臓）フィジカル講義								
6回	胸部（呼吸・心臓）フィジカル演習								
7回	脳神経系フィジカル講義								
8回	腹部のフィジカルアセスメント講義・演習								
9回	事例を用いたフィジカルアセスメントの実際 臨床推論演習①								
10回	事例を用いたフィジカルアセスメントの実際 臨床推論演習②								
11回～12回	妊産婦の異常の早期発見（フィジカルイグザミネーション①）						土屋		
	妊産婦の異常の早期発見（フィジカルイグザミネーション②）								
13回	分娩救急時のフィジカルアセスメントと対応						橋本 他		
14～15回	胸部（乳房）フィジカルアセスメント講義と演習①						松井		
	胸部（乳房）フィジカルアセスメント講義と演習②								
						*講義内容の順番については変更あり			
事前・事後学習	事前学習：各回の必携図書で該当する部分を読んでくる。 事後学習：配布資料を復習する。技術の自己練習を必ず行うこと。 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に組み合わせること。								
評価の方法	技術試験 100% フィードバックは適宜行う。								
参考図書・資料等	◎診察と手技がみえる(1)；古谷伸之、メディックメディア、2007 ◎助産師のためのフィジカルイグザミネーション；我部山キヨ子・大石時子編、医学書院、2008 ◎は授業の必携図書ですので、購入していただきます。								
備考	オフィスアワーについては学生便覧を参照し教員と日程調整をする。 講義：HM209、演習：HM204で行う。 必要物品：聴診器、演習時の服装：白衣・ユニホームで参加する事								